

自社一貫の生産体制構築で業績アップ!!

Hikimi 森の器 工房吉昭／美濃商工会

- 業種 木工品製造業
- 住所 島根県益田市匹見町匹見イ1285-7
- 電話番号 0856-56-0445
- 定休日 日曜日



「木地師」とは??

轆轤(ろくろ)などを用いて木材から
盆や椀などの日用器物を作る人。



私は

『小規模事業者持続化補助金』

を活用しました!

一つ一つ、職人が手作りする木の器。平成8年に開業して以来、木地師としての高度な技術と洗練されたデザインでお椀やお皿、ボールの製作を手掛けお客様から高い評価を受けています。素材には樺や松といった銘木だけにこだわる業者が多い中、「木にこだわらないのが強み。地域の広葉樹101種類の原木を活用したいです!」と強い気持ちで目標を掲げる、代表の藤本吉昭さんにお話を伺ってきました!

取り組みのきっかけはなんですか?

匹見町の工芸品として質の高い商品を手頃な価格でより多くのお客様に届けたいと思っていました。しかし、製材や乾燥は外注していたため、コストがかかり、単価が上がってしまうことがネックでした。そのため、製材から乾燥までを自社で一貫して行う体制が必要だと考えていました。

商工会からどのような支援を受けられましたか?

商工会に相談すると、この補助金の活用を提案して頂きました。自社生産体制を整える構想を練り、委託販売先の拡大といった増収を目指した計画と一緒に立てていきました。採択後は、計画の進捗状況のチェック等細目にフォローして頂き、実績報告までスムーズに進めることができました。

取り組みの成果・効果を教えてください!

製材や乾燥の工程で使用する機械を導入し自社で行えるようになったことで、コストを抑えることができ、外注することによって発生していたタイムラグも解消され、一貫した生産体制を構築できました。これに伴って受注体制も整い、販路も徐々に広がってきており増収増益につながっています。木工品だからこそ、あたたかく、温もりのある食器として特に女性の方からご好評を頂いています。

安達 寛樹(経営指導員)

木工職人として信念を持って事業に取り組んでおられ、その強い想いが形となるような支援を普段から心がけています。そして、これかも多くの木工作品を作ってもらい、多くの人に使ってもらえるよう応援していきます!



代表 藤本 吉昭さん

自分の拘りや想いに真剣に耳を傾けてくれて、それに似合うような支援策を提案してくれます。何かあれば、まずは商工会に相談しており、地域の最も身近な存在です。引き続き宜しく願います。